



[CLUB OFFICE] 京都 Y M C A 〒604-8083 京都市中京区三条柳馬場角 ☎ (075) 231-4388

Bulletin
2017. 10. 1 発行
第37巻 第4号
通巻411号



今月の聖句

塩は良いものである。だが、塩に塩気がなくなれば、あなたがたは何によって塩に味を付けるのか。自分自身の内に塩を持ちなさい。そして、互いに平和に過ごさなさい。
新約聖書マルコによる福音書 9章 50節

会長/田中升啓
副会長/五十嵐由紀
田中雅博
書記/瀬本純夫
山口雅也
会 計/左近宏崇
椿 森 昌史

クラブ主題

絆の力で越えていこう!!! ～一人よりふたり、二人より全員で!～

- 国際主題: I P Henry Grindheim (ノルウェー) "Let us walk in the Light-together." 「ともに、光の中を歩もう」
- アジア太平洋主題: A P Tung Ming Hsiao (台湾) "Respect Y's Movement" 「ワイズ運動を尊重しよう」
- 西日本区主題: R D 大野 勉 (神戸ポート) 2022年に向けて「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」"Healthy mind & healthy body make healthy club"
- 京都部主題: D G 竹園 憲二 (京都ZERO) "All Hands on Deck!"
- メネット主題: RSD 中道 京子 (神戸) 「生きる! 希望を分かち合いながら」"Live, sharing hope!"

【9月報告】

西日本区
強調月間

10月 BF EF

国際組織の一員であることを再認識し、BF/EFの目的を理解しましょう。

金澤市郎国際・交流事業主任 (京都クラブ)

年間強調
目標PR

ワイズメンズクラブの活動をホームページ・ブリテンでクラブ内外の人達に事あるごとにアピールしましょう!

伊藤 剛 西日本区 広報・情報委員長 (京都トゥービークラブ)



例会出席

在籍者数 37名
広義会員 1名
第一例会 26名
メネット 2名
特別メネット 1名
ゲスト 0名
第二例会 33名
メネット 0名
ゲスト 0名
出席率 97.3%



BFポイント

切手 0g
切手累計 0g
現金累計 0円
E F 0円
J W F 0円
EF-JWF累計 0円



ニコニコ

第一例会 0円
第二例会 9,000円
累計 72,000円



ファンド

パンファンド 1,000円
名刺ファンド 370円
お米ファンド 16,700円
大山ハム 20,200円
累計 67,552円



献血

献 血 0cc
成 分 0名
累 計 0cc
成 分 0名



130周年募金

第一例会 0円
第二例会 3,202円
累計 132,597円

東日本大震災復興・支援募金

第一例会 0円
第二例会 3,727円
累計 13,530円

九州北部豪雨支援募金

第二例会 4,176円
累計 16,482円



交流・ファンド委員長は大変です!

交流・ファンド委員長 山田 隆之

早いもので入会 20 年が経とうとしています。その間、西日本区事務局、京都部地域奉仕環境事業主査、クラブ会長、三役、各委員長等多くの役をさせて頂きましたが、ファンド委員長は初めての経験です。今期は交流委員会とファンド委員会と一緒に活動することに違和感を持ちながら頑張っています。

周知のとおりファンド委員会がおこなう事業により生みだされる収益はキャピタルクラブの各事業費を賄い、クラブの奉仕活動の源泉となる重要な委員会です。

今までの認識では Y サ、地域奉仕が看板でファンドはジャガイモを販売すれば概ね資金が確保できると思っていましたが、目標の金額を確保するには大変な努力が必要であることを今期痛感いたしました。歴代のファンド委員長に改めて敬意を表したいと思います。ファンドの意義があり・価値のある商品・低コスト、この三拍子そろった商品を探すのに大変苦労しています。

しかし、時代は大きく変わろうとしています。メンバー数の減少、経済状況、クラブに対する意識の変化等、クラブ創立 35 周年を迎えようとしている今日、クラブを取り巻く状況は年々厳しくなっていると思います。

少しでも多くのジャガイモ等を販売するために委員会をあげて努力したつもりですが、結果的には大幅に販売数を減らす結果になりました。キャピタルクラブを支えてこられたベテランメンバーの購入個数が減少しています。それでも大変多くの個数を購入して頂き、中心的にジャガイモファンドを支えて頂いていることに変わりはありませんが、「仕事を一線から退いたので販売が難しくなった」「病気をしてから少し気力がなくなった」などのお話を聞くようになりました。毎年一定の個数を当たり前のように販売することが難しい時代に入ったと思います。次の時代を担うメンバーを育て、ジャガイモ等の販売先の新規開拓と小高年齢化に対応した売り方の工夫や新しいファンドになる商品開発が急務だと感じています。今期はなるべく効率良く、時間的な負担を減らせるように工夫し頑張っていきたいと思っていますので、ご協力の程、宜しくお願い致します。

また、交流については東京クラブとの IBC 先である台北アルファークラブと 2016 年 8 月 6 日に台湾で開催された国際大会で東京クラブとの IBC のトライアングルを締結し、これからの交流が楽しみです。来年の 35 周年記念例会に多くのメンバーが訪日して頂けるような「繋ぎの年」と位置づけ、交流の機会を作り、連絡を密にする努力をしていきたいと思っています。

DBC に関しては名門東京クラブと 1994 年 3 月 20 日に締結し、毎年合同例会を持つなど活発な交流が続いています。今期も 2018 年 3 月 24 日～25 日に東京を訪問し交流を深め、今までは刺激や知識を与えて頂いた先輩クラブに、キャピタルクラブの素晴らしさを感じていただきたいと思っています。

聖句の解説

お葬式に行くときと帰り際に塩をいただくことが多くあります。いわゆる清めの塩で、日本では、塩を単なる調味料としてではなく、宗教的意味合いで使うことがあります。

ユダヤ世界を含む古代オリエントでも、塩にある意味宗教的な意味合いを持たせていたと言われており、聖書にもよく出てきます。エジプトでミイラの腐敗を防ぐために塩を用いたように、腐敗を防ぐ役割から物事を清める意味で用いられたようです。

「自分自身の内に塩を持ちなさい。そして、互いに平和に過ごさなさい。」心に塩を持つとは心を清く保つとともに、味わい深い豊かな心で周りの人と接するところに平和がもたらされるという事なのではないでしょうか。

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

9月第一例会 2017年9月10日(日) 15:00~20:30
ウェスティン都ホテル京都

9月第二例会 2017年9月19日(火) 19:00~21:00
ウェスティン都ホテル京都

第22回京都部部会

Yサ・ユース委員 石村吉宏

9月10日(日)午後3時より、京都ZEROクラブのホストにより、500人以上の京都部メンバーが参加して京都部会が開催されました。キャピタルクラブからは32名が参加しました。



第1部はテンポの良いバナーセレモニーから始まり、来賓祝辞、部役員の紹介、評議委員会報告等がありました。

第2部は少し休憩の後4時より、住んでいる住所又は勤務地ごとにテーブルつきました。

渥美公秀、寺本弘伸両講師の進行でDIGにより「地域の危険性を知り、人を知り、街を知り、対応を考えよう」と題して大災害が起きた時の対応について考えました。

あらかじめ同じ地域に住んでいる人毎にまとめられた10人程度のテーブルごとに、先ずは自己紹介。近くに他クラブのメンバーが住んでおられるのを知りました。大きな地域の地図を使い、断層、地滑り地域、川の氾濫、通行不能になる道路を探し、避難所になる学校、公園を確認しました。そして、災害時にワイズメンが如何にして、地域の指導的立場になれるかを考えました。時間がアツと言う間に過ぎました。

第3部は、準備の後、最初にブースター賞の授賞式があり、何時もながら盛り上がる懇親会が始まりました。ジャズバンドのアドニスオーケストラの演奏と女性ボーカルが素晴らしかったです。



中西部部会に参加して

広報・ブリテン委員 岡本尚男

9月23日、JR大阪駅構内にある「ホテルグランヴィア大阪」で13時から16時まで開催され、中西部の9クラブとびわこ部、京都部、阪和部、六甲部、西中国部、九州部からの参加者と区役員、松野大阪YMCA副総主事の134名で開催された。式典のあとの講演会は「平和の使者 青い目の人形—90歳を迎えた人形を訪ねて」フリーアナウンサー山田真知子さんのお話。

1927年、日米関係の悪化を改善しようとシドニー・ギュー

平安京の成り立ち

広報・ブリテン委員 森 繁樹



講師の馬瀬智光様

「山城の間」で9月第2例会が開催されました。田中升啓会長の爽やかな開会宣言と力強い開会の点鐘で始まりました。

会長挨拶は、「実は、歴史好き」だとのつかみで始まり、本日のゲストスピーチの演題「京都市内最近の発掘成果について」を意識してか歴史の話にも触れながらの挨拶でした。その挨拶の中で、高杉晋作の辞世の句の紹介がありました。『おもしろき

こともなき世を おもしろく すみなすものは 心なりけり』、おもしろいことがない世の中で、おもしろくするのは、自分の心次第だと言う意味だそうです。すごく感銘を受けました。私も歴史が大好き(男性は比較的歴史好きが多いかな)で、興味深く拝聴しました。これからの会長挨拶で歴史の話が出ることを、多いに期待しております。

本日は、加藤俊明総主事に心が洗われる食前感謝をして頂きました。

講演の方は、埋蔵文化財係長、馬瀬智光様に「京都市内最近の発掘成果について」というテーマでお話を頂きました。馬瀬様が、埋蔵物や発掘のお話をされる時、たいへん嬉しく、楽しい表情でされていたのが印象的でした。聞いている方まで、気持ちが和やかになりました。また、講演資料の平安京(条坊)の地点表示図を見て説明を聞いていると当時の平安京が少しイメージされ、もっともっと話を聞いていたくなりました。またじっくりお話を聞く機会があればと思います。

講演後は、いつもの誕生日のお祝い(3人)と結婚記念日のお祝い(2人)でした。時間がたっぷりあったので、皆様の話を一言、一言じっくりと聞くことができました。たいへん充実した例会でした。



リック宣教師の呼びかけで日本の子供達に人形を贈ることを全米の教会や民間組織に呼びかけて、12,739体の「青い目の人形」が日本全国の幼稚園や小学校に贈られた。民間による壮大なプロジェクトであった。

しかし、太平洋戦争が勃発しその人形達は過酷な運命を辿り、現在は約350体の内、兵庫県に残っている90歳になる11体の人形を守り抜いた人を取材し、取材中に見つかった人形の話などは、改めて平和の尊さを感じさせるものであった。ギューリックの孫夫妻が11体の人形と89年目の同窓会で対面し、幼稚園児にその歴史を伝える写真は心打つものがあった。ラジオ関西のアナウンサーを経てフリーの立場で、「美しい話し言葉」にこだわった山田さんの取材を通した講演は大変に聴きやすく心に沁みだ。

懇親会の中での生演奏も半世紀に亘る歴史を感じさせるものであった。桃山学院大学OBを中心に結成された「バックウッズ マウンテニアーズ」は50余年前に朝日放送の「全国大学対抗バンド合戦」で日本一に輝いただけあって、電気楽器を一切使用しない昔ながらのスタイルの演奏で「日本で一番天国に近い」ブルーグラスバンドで、ワイズメンも頑張っていた。よければ出張しますとのことであった。

人生の節目

当時はしんどかったけど、 しくじって良かったのかも

左 近 宏 崇

これ以上、何をすればいい？ これ以上？

不動産鑑定士2次試験の2度目の不合格を受けての感想でした。

当時の不動産鑑定士業界は徒弟制度全開で、資格者でない人間扱いはされない（個人的な感想です（笑））。やっと抜け出せると感じてたんですが……

1度目の試験会場では、3日間、論文用紙に猛然とペンを走らす周りの受験生達の中、途中退出を自ら禁じ、ペンを握ったまま、ほぼ白紙の論文用紙を見つめ、恥辱を噛み締めていました。

2度目は、1度目の試験翌日から生活を受験仕様に替え、たばこ以外は基本的に全絶ちし、順調に成績も伸び模試も合格圏内を維持した状態で臨み、手応えもそこそこあった為、不合格をうけ、ダメージが大きく冒頭のごとく茫然とし廃人と化したのを覚えています。

立ち直る過程で、本当にやり切ったのか？ 自問の末、どうせ受かるんだろと最終なめてたんじゃないか？ 社会に出て培養した根拠の無い自信や驕りがあったのでは？ と思に至りました。

この気付きで、その後の行動や振る舞いも随分マシになれた気がします。

これも驕りでしょうか。このお題を節目に自問したいと思います。

素晴らしい人たちとの出会い

田 中 雅 博

人生の節目を考える際に、今の会社を作った時が一番大きな節目だったのは間違いありません。でもその前の年にも、やはり大きな節目があったことを思い出します。

社会人になって2年目が終わろうとしていた2月21日に広島へ転勤しました。その会社では、入社3年目を目途に地方を経験するために転勤するのが常となっており、中国地区を統括する販売会社へ出向となりました。

主力以外の商品をまとめて担当し中国地区を隈なく回るうちに、予想以上にたくさんの方と出会い、今から言えばその中で経営の神髄を学んだように思います。

当時は会社の察に入っていたのですが、そこにはその販売会社の社長や部長、また関連会社の社長のほとんどがおられ、その方々との交流で得たものも大きく、同世代の中にも素晴らしい方がたくさんおられました。あらゆる点で私のお手本だった沈着冷静で博学の先輩A氏や、入社早々に赴任してきた大学の後輩でもある自由奔放で爆発的なパワーを持ったB氏は、私に多大な影響を与えてくれました。

その時に知り合った多くの方とは今でも交流があり、特にA氏とB氏には一緒に働きましようとお誘いをしたこともありました。もちろん断られました……。

そしてその後一年足らずでその会社を退職し、その後また一年足らずで会社を経営することになるのですが、この広島でのたくさんの方々との交流、営業としての経験、それに伴う図太い精神、それと「目標を達成するために組織としての力を最大限に生かす術」を学んだことが、その後訪れる幾多のピンチを乗り越える原動力になったように思います。

また、釣っちゃった！

EMC 委員長 石 倉 尚

今年3度目の釣行を予定していた9月2日(土)が台風15号の接近により残念ながら中止となり、23日(土)仁科ご夫妻と亀井さん、香山さん、石倉の5名での釣行となりました。前回同様、舞鶴より「浜内丸」にて出港です。(延期で待った分、ワクワクも特大です。)

ポイントにつきフカセの準備をしたのですが、潮の加減でフカセは無理とのこと……仕掛けを胴突きに替えて、まず一投です。なかなか当たりがでません。周りはポツポツとカワハギ、ウリボウ……ポイントを何度か移動しても……ポツポツ。夕刻に最初のポイントへ。浜内船長大当たりです。鯛、アジ、イサキ etc 爆釣です。おっと、いつの間にかカメちゃんがイカを釣っ

ています。香山さんと私も仕掛けを替えてイカ狙いです。私は初めてのイカに挑戦です！ なかなか面白いのですが、糸がもつれてもつれて、その間に隣で香山さんがイカ大当たりです。(次回は仕掛けをシンプルにして挑戦します)。私も何とか3～4杯釣れました。仁科ご夫妻もお二人並んで爆釣でした。仁科プロは、天秤フカセ？ とか、さすが知識が豊富です。いろいろ教えていただきましょう。節子メネットは3度、釣り針が伸びて大物を逃がされました。理由は、買った仕掛けを車に……詳細は仁科プロにお聞きください。結果、午後3時から10時まで7時間釣りに没頭しました。

11時、漆黒の闇の中、舞鶴へ帰港しました。遅い宴は、四条烏丸にもある「八島丹山」で焼肉&ホルモンうどんで祝杯です。今回の釣り同好会は参加者が少なかったのですが、たくさん釣れてみんなニコニコ！ 今年もあと一回計画しようとなりました。皆様、お楽しみに！



PS. 途中までボウズ覚悟でしたが、また、釣っちゃいました。

転居のお知らせ

森 常夫さんが下記に引越されました。

京都市下京区猪熊通万寿寺東入ル柿本町 587-20
TEL (075)823-6002 FAX (075)823-6003

第22回京都部部会 メネットアワーに参加して

メネット 大山 悠子

部会開始前の12:10～14:00にもたれたメネットアワーに参加いたしました。久しぶりでしたので『……働くメンバー頑張れとメネット、ワイズの応援団……』と歌うメネットソングを懐かしく歌いました。

中道京子西日本区メネット事業主任のご挨拶と今期の事業方針の説明を伺い、誠に時宜に合った事業だと拍手を送りました。

引き続きの講演は事業方針を具体化したような活動の紹介でした。『貧困の連鎖をなくすために～WACCAの取り組みから～』NPO法人女性と子ども支援センターウイメンズネットこうべ理事でWACCAのスタッフの茂木美知子さんのお話は今の社会で起きている現実であることに心が痛みました。

ひとり親家庭7人に1人は貧困という実情、DVから避難して同法人のシェルターに身を寄せておられる方々のこと、その子どもたちへの学習支援など必要なことをすばやく感じ取って行動に移しておられるNPO法人が運営するWACCAの活動はまさに寄り添う姿勢そのものだと感服いたしました。

直接の関わりはもてなくてもこれらのNPO法人をサポートするこのメネット事業に協力したいと思いました。今の社会は豊かさと同時に貧富の差も大きくなってきていると聞きます。貧困の放置は社会による虐待、大人同士がつながり合うのが子どもの豊かさに繋がるといわれた講師の最後のメッセージが心に残りました。

ワイズメンズクラブやYMCAはまさに人と人がつながりあっている組織です。わたしたちにできることは何なのかと考えさせられた時間でした。

YMCA NEWS

京都 YMCA 耐震補強・改修工事開始

10月2日より、京都YMCAの耐震補強・改修工事が始まります。皆様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【本部事務局 仮事務所】

場所 京王京都三条ビル3階（京都市中京区堺町三条通東入ル榊屋町75）

※京都YMCA正面出口を出て、左斜め向かいのビルです。
※ワイズメンズクラブへの連絡トレーは、仮事務所に設置いたします。

※仮事務所開館時間

（平日）午前9時～午後6時（土曜）午前9時～午後5時
期間 10月から12月末までの期間、仮事務所に移転します。

連絡先 TEL/FAX 番号に変更はありません。

代表番号 TEL (075)231-4388 FAX (075)251-0970



ごめんなさい

9月号3P「EMCシンポジウム」の3行目、三科EMC主査はEMC主任の間違いでした。

編集後記

去年の10月号には荒川さんと一緒に新しい仲間紹介に載っている自分がいます。一年経って少しは分かってきたような気がします。京都部部会や他クラブの周年記念例会に参加させていただくと、他クラブの方も同じように真剣に活動されていて、遠方からも来てくださる方々がいる。見えなくても日本全国に同じように活動をされている方がいる。知ってはいたつもりですが、その凄さを感じていなかったように思います。

これからも色々とお出でいただき、勉強していこうと思います。今期のプリテンに私がどこかに隠れていましたが、10月号から田中会長も登場しています。お楽しみください。

広報・プリテン委員長 宮崎順巳

HAPPY BIRTHDAY

メン	田中 雅博	10月13日	内廣 健	10月19日
メネット	亀井三千代	10月2日	西村和香子	10月16日
	岡本 都	10月17日	大門 洋子	10月17日
	石倉 博子	10月19日		
コメット	吉井 禄	10月4日	田中隆之祐	10月20日

HAPPY ANNIVERSARY

山口 雅也・重子	ご夫妻	10月3日
志田 育夫・千鶴	ご夫妻	10月8日
石倉 尚・博子	ご夫妻	10月12日
幡南 進・陽子	ご夫妻	10月16日

第3回 役員会議事録

2017年9月26日(火) 19:00～21:00

ウェスティン都ホテル京都 平安の間

〈西日本区・京都部報告〉

9月10日(日) 京都部第2回評議会／2019年度西日本区大会ホストクラブ TOBEクラブに決定／9月15日(金) 第4回PR委員会開催／11月5日(日) びわこ部会 ウッディバル余呉にて

〈YMCA 報告〉

九州北部豪雨支援募金 9月末で提出／第14回インターナショナルチャリティーラン開催に関して

〈三役会報告〉

手帳サイズ名簿・年間予定表発行について／ブリテン印刷部数について

〈各事業委員会報告〉

- YMCA サービス・ユース事業委員会 第14回チャリティーランは今年度は開催を取りやめ、2019年度に開催されることになった。
- YMCA リトリートセンター特別事業委員会 Yサ献金 2,200円×39名から=85,800円を受け取る(特別メネット広義会員含む)／10月29日(日) 国際協力街頭募金／11月12日(日) わんぱくチャレンジクラブ 食事提供
- 地域奉仕・環境事業委員会 ふれあい広場：当日の予定確認／ベテスタ祭り：名称がBETE-TUDA 祭り2017となる。地域の方や子供達と楽しむ内容に刷新された。／京都部ワイズデー：詳細確認、ベテスタの家から4名ご招待。／メタセコイヤフェス：5月20日(日)で決定。
- ドライバー事業委員会 開催済み例会の報告／10月以降～新年例会までの例会内容の確認
- 交流・ファンド事業委員会 ジャガイモファンダ個数確定。受け渡し日程は10月15日(日) 場所は検討中／お米ファンダ、大山ハムファンダ、合同委員会を開催予定／交流事業：DBC日程 3月24日(土)～3月25日(日)に決定／東京クラブのプリテンに寄稿のお誘いをいただく。
- 広報・ブリテン事業委員会 10月号・11月号の骨子の確認。プリテン送付について検討。
- EMC事業委員会 メンバーゲストカードの配布について。／例会出欠状況の確認。ファミリーお祝いの実施継続中。／YES献金：51口25,500円(全メンバーより)を送金済。

〈審議事項〉

- 九州北部豪雨災害支援金について→募金16,482円+災害時積立金より83,518円、合計10万円を支援金とする件。承認
- 35周年記念例会開催日を2018年11月3日(土・祝)とする件。承認

〈その他〉

次回三役会 2017年10月19日(木)19:00～

次回役員会 2017年10月24日(火)19:00～

